

ひとり1改革運動

「ICTの利活用で、新たな行政サービスを創出しよう！」改革賞

技術革新による維持管理・点検の省力化

～舗装の凸凹を計測する装置を道路パトロール車に搭載～

【交通基盤部道路局道路保全課維持舗装班】



道路の舗装は、職員が道路パトロール車に乗って目視で点検し、発見した穴ぼこや段差を補修しています。この道路パトロール車に舗装の凸凹を計測する装置（簡易IRI測定装置）を搭載しました。

これにより、道路の段差やがたつきを定量的に評価できるようになりました。

また、5年に1～2回実施している路面性状調査について、道路パトロール車での測定値を活用することで、調査経費の縮減が見込まれます。

（10年間で2,500万円）

取組にあたって留意・工夫した点、苦労した点は？

IRIの値は数値で出力され、専用のソフトを用いるため、特定の職員しか確認ができませんでしたが、測定数値を静岡県GISに図示することで路面の損傷箇所を把握できるようにし、関連する土木職員も確認可能となりました。

※IRI・・・国際ラフネス指数（International Roughness Index）路面の平たん性（乗り心地）を客観的に評価する指標

今後の取組は？

現在、富士と島田の土木事務所の道路パトロール車に簡易IRI測定装置を搭載しましたが、その他の事務所の道路パトロール車への搭載も検討していきます。



【QCサークル 株式会社デンソー 鈴木 徹 様 から一言】

この改革のポイントは、IRIで得られたデータを静岡県GISに表示し、見える化が図られている点です。

見える化は、いろいろな情報を瞬時に把握、共有化できる点で改善活動においても重要な手法で、改善のスピードアップ、効率化が期待出来るので大いに活用してください。